

2022年2月15日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

東京大学医学部附属病院との共同研究の開始 ～「がんになっても安心して働ける職場環境づくり」への貢献～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗、以下「当社」）は、このたび、東京大学医学部附属病院（病院長：瀬戸泰之）とともに、中小企業における「がんに対する意識とがん患者の就労状況」に関する共同研究を開始しました。

当社は、1970年代から半世紀にわたり、中小企業を取り巻く様々なリスクに対する保障をお届けしてまいりました。また、2016年より、中小企業における健康経営^{*1}の普及支援活動「DAIDO KENCO アクション」^{*2}を展開しています。

年間約100万人が新たにがんと診断される現代では、その約3人に1人が64歳以下^{*3}の「働き世代」であり、仕事をしながら通院・治療されている方も多くいらっしゃいます。今回の共同研究は、当社に蓄積された豊富な保険契約データ等と、日本の医学・医療を牽引する東京大学医学部附属病院の知見を融合させることで、「がんになっても安心して働ける職場環境づくり」を目指すものです。

当社は、こうした取組みを通じて、引き続き「中小企業とそこで働く人々が生き生きと活躍できる社会づくり」と「わが国の高齢化社会が抱える課題解決への貢献」を目指してまいります。

※1：「健康経営[®]」とは、従業員の心身の健康を「企業競争力の源泉」と捉え、企業として戦略的・積極的に「従業員の健康づくり」を実践することです。「健康経営[®]」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※2：「DAIDO KENCO アクション」の概要は、こちらのリンク先をご覧ください。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/healthfund/action.html>

※3：「平成30年 全国がん登録罹患数・率報告」（2021年6月14日発行）

編集：国立がん研究センターがん対策情報センター／発行：厚生労働省健康局がん・疾病対策課

<共同研究の概要>

研究期間	2022年2月 ～ 2026年3月
テーマ	中小企業における「がんに対する意識とがん患者の就労状況」
主たる研究者	中川恵一氏 (東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター／ 東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授) ※職域がん対策を進める厚生労働省の国家事業「がん対策推進企業アクション」議長
研究内容	・大同生命が有する「中小企業の保険契約データ」等に基づき、大同生命と東京大学医学部附属病院が共同で中小企業における「がんに対する意識」や「がん患者の就労状況」等の動向を分析・研究。 ・研究成果を大同生命における新たな保険商品・サービスの開発に活かすこと等を通じ、「がんになっても安心して働ける職場環境づくり」に貢献する。